

取扱説明書

静電気試験器

ESS-S3011 / ESS-S3011A 用
リモートコントロールソフト

お断り

- 本書の内容は予告なく変更されることがあります。
- 株式会社ノイズ研究所の許可なしに、いかなる方法においても本書の複写、転載を禁じます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、ノイズ研究所およびノイズ研究所指定の者以外の第三者によって修理、改造されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品を運用した試験結果および、供試機器に与える影響につきましては、上記に関わらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本書内に記載されている商標や会社名は、各社の登録商標または商標です。本文中に TM、®は明記しておりません。
- 安全保障輸出管理制度 ～当社製品の輸出についてのお願い～

本製品は、輸出貿易管理令別表第一第 1～15 項までに該当しておりませんが、第 16 項のキャッチ・オール規制対象貨物には該当します。よって、当社製品を海外へ輸出、または一時的に持ち出す場合には最終需要者・最終用途等の確認審査をおこなう為、事前に当社へ輸出連絡書の提出をお願いしております。記載内容につきましては、お客様を信頼し、輸出連絡書に記載の最終仕向け国・最終需要者・最終用途等をもって、輸出貿易管理令別表第一第 16 項規制の確認をさせていただきます。

輸出規制の法律を厳守する為、輸出連絡書の提出を必ずお願い致します。また、国内外の取引先に転売する場合は、転売先に上記内容についてご通知をお願い致します。

※上記内容は法令に基づいておりますので、法令の改正等により変更される場合があります。法令の規制内容・輸出手続等についての詳細は政府機関の窓口（経済産業省 貿易経済協力局 貿易管理部 安全保障貿易管理課等）へお問い合わせください。

1. ソフトウェア使用許諾条件事項

1. 使用目的の制限
仕様書、取扱説明書に記載する用途でご使用ください。その目的以外には使用しないでください。
2. 使用できる者
お客様の使用環境において、本ソフトウェアの動作を含むシステム全体に対して機器類の安全確保や操作方法など適切な教育・訓練を受けた方が使用してください。
3. 複製の可否
ご購入いただいた事業所（工場、事業所、営業所など）にご所属の方なら複数名、複数のパソコンにインストールし、ご使用いただけます。
4. 知財権の取り扱い
本ソフトウェアおよび本ソフトウェアに関する著作権等の知的財産権は、当社に帰属します。
5. 使用期限
お客様が本ソフトウェアのインストールまたは利用するための所定の手続きを完了した時点のいずれか遅い時点に発生し、当社の定める利用期間の終了がある場合は、それをもって使用の効力を失うものとします。
6. 使用終了の条件
お客様が本文のいずれかの条項に違反した場合、または当社の著作権その他知的所有権を侵害した場合には、当社のお客様への使用許諾を解除することができます。
7. 使用終了時の処理内容
本ソフトウェアを速やかにアンインストールしていただきます（当社よりその他の指示がある場合は、それに従うものとします）。
8. 免責事項
本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。
9. 禁止事項
本ソフトウェアに関して以下の行為を禁止いたします。
 - ①本ソフトウェアの機能を変更、追加する等の改変行為。
 - ②本ソフトウェアの逆コンパイルまたは逆アセンブル等の一切のリバースエンジニアリング行為。
 - ③本ソフトウェアおよび当社により提供された本ソフトウェアの添付品を、第三者に対して再販売、譲渡、再配布、使用許諾等する行為。
 - ④本ソフトウェアおよび当社により提供された本ソフトウェアの資料、情報等を第三者に送信可能な状態でネットワーク上に蓄積する行為。
10. USB などのプロテクトキーの取り扱い
当社が提供するソフトウェアによっては、USB などのプロテクトキーが必要な場合があります。
 - ①添付品にプロテクトキーがある場合、動作させるパソコンにプロテクトキーを装着する必要があります。
 - ②プロテクトキーは原則再発行いたしません。万一、破損や紛失等発生した場合は、当社営業（または修理）部門にお問い合わせください。

2. 重要安全事項

本製品は、静電気試験システム ESS-S3011 / ESS-S3011A のリモート制御をおこなうソフトウェアです。次に挙げる各事項は、本製品を使用して ESS-S3011 / ESS-S3011A をコントロールする際、安全に取り扱う上で重要な事項ですので、よくお読みになってからご使用ください。

なお、本製品を使用する前に、本書と ESS-S3011 / ESS-S3011A 本体の取扱説明書をよくお読みください。

1. 誤った操作や不注意な操作を行うと致命傷になります。
2. 火気禁止区域等の誘爆区域では使用できません。使用すると放電等により引火する可能性があります。
3. 湿度の高い所や、ほこりの多い所でのご使用は避けてください。
4. 心臓用ペースメーカー等の電子医療器具を付けた人は、操作しないようにし、かつ動作中に試験区域へ立ち入ることもしないでください。
5. 接続に関しては、供給電圧に感電することがありますので、本体、供給電圧、接続する試験器、供試体（以下 EUT）の電源を OFF にし、通電がないことを確認してから行ってください。
6. 本ソフトウェア動作中に本体の電源を OFF にしたり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。PC の動作が不安定になったり、OS が動作不良を起こしたりする場合があります。本体の電源を OFF する前に必ず本ソフトウェアを終了するようにしてください。
7. 本ソフトウェアを動作させる場合、他に実行しているソフトウェアを終了させてから起動してください。

3. 目次

1. ソフトウェア使用許諾条件事項	1
2. 重要安全事項	2
3. 目次	3
4. まえがき	4
4.1. まえがき	4
4.2. 本製品について	4
4.3. 本製品の特徴	4
5. セットアップと起動	5
5.1. セットアップ	5
5.2. 起動	12
6. 操作方法	13
6.1. メイン画面	13
6.1.1. 試験条件設定	14
6.1.2. 試験環境設定	16
6.1.3. 試験実行	17
6.2. その他	20
6.2.1. ファイルメニュー	20
6.2.2. オプションメニュー	21
6.2.3. バージョン情報メニュー	21
7. 動作環境	22
8. 保証	23
9. 不具合発生時の連絡先	24

4. まえがき

4.1. まえがき

このたびは ESS-S3011 / ESS-S3011A をお買上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品をお使いになる前に本書をよく読んで頂き、充分ご活用くださるようお願い申し上げます。

本書は、各ボタン名と、その他の識別名や画面上に表示されるメッセージなどは<ボタン名>と[その他の識別名や画面上に表示されるメッセージ]のように囲み方を分けて表記しています。

ESS-S3011 / ESS-S3011A 本体の取扱説明書も併せて御一読いただけますようお願い申し上げます。

- **本書は、操作方法と注意事項を遵守できる方々が、静電気試験器 ESS-S3011 / ESS-S3011A 本体および本ソフトウェアを安全に取り扱え、かつ充分にご活用頂くために書かれています。**
- **本書および ESS-S3011/ ESS-S3011A 本体の取扱説明書は、取り扱うときいつでも取り出せる所に置いてください。**

4.2. 本製品について

株式会社ノイズ研究所製 ESS-S3011 / ESS-S3011A を、実行・制御・補助するためのソフトウェアです。

別売の光インターフェースユニット(MODEL:07-00022A)を使用して試験器と PC は光ケーブルにより接続します。

4.3. 本製品の特徴

- ESS-S3011 / ESS-S3011A の制御をパーソナルコンピュータでおこなうことができます。
- IEC61000-4-2 の規格に基づく試験条件の設定が容易にできます。
- PC の USB ポートに光インターフェースユニットを接続し、試験器と PC は光ケーブルで接続しますので、電氣的に絶縁された状態でリモートコントロールをおこなうことができます。
- 試験条件の保存機能により、必要なときに同一条件の試験をおこなうことができます。
- レポート作成支援機能により、試験の条件を MS-Excel に出力することができます。
(レポート作成支援機能を使用するには、あらかじめ PC に MS-Excel がインストールされている必要があります)

5. セットアップと起動

5.1. セットアップ

(1) セットアップの前に

ESS-S3011 / ESS-S3011A は背面の電源スイッチにより、通信機能を含む内部の電源を管理しています。

注：ソフトウェア動作中に機器の電源を切断すると、PC が不安定になる場合があります。
機器の電源を OFF する前に必ずソフトウェアを終了してください。

(2) ソフトウェアのセットアップ

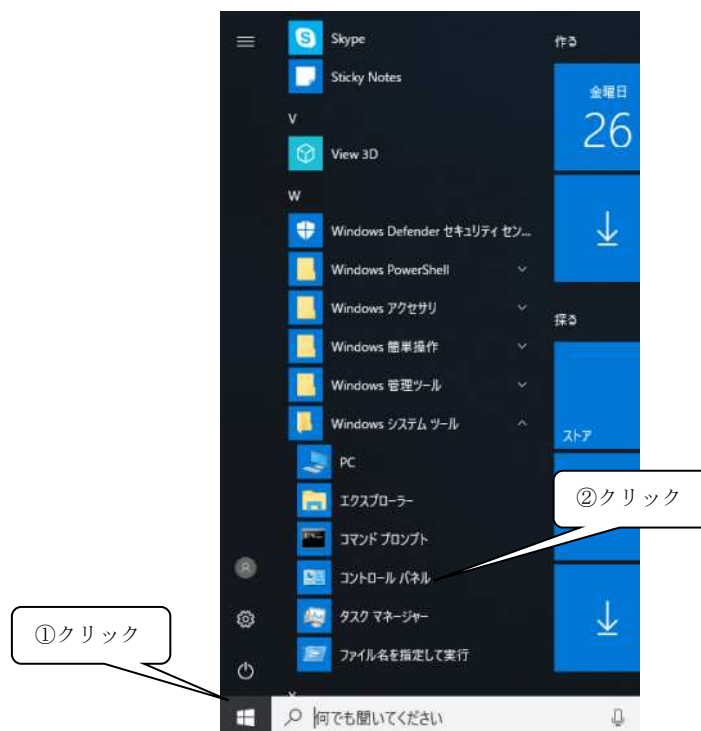
- ① Windows に Administrator（管理者）権限を持つ ID でログオンしてください。
- ② 当社ウェブサイト（<http://www.noiseken.co.jp/>）から ESS-S3011 用リモートコントロールソフトウェアをダウンロードしてください。
- ③ ダウンロードしたファイルを解凍し、ESS-S3011 のフォルダから [Japanese] のフォルダを選択します。
- ④ フォルダ内の (Setup.exe) もしくは (Setup_EssS3011.msi) を実行します。
- ⑤ インストールプログラムが起動します。画面の指示に従ってインストールを行ってください。
- ⑥ インストールの確認
インストール終了後、タスクバーの [スタート] のアプリリストに [NoiseKen]-[ESS-S3011] が登録されます。

以上でソフトウェアのセットアップは完了です。

(3) ドライバのインストール

本ソフトウェアを実行するには、ドライバをインストールする必要があります。

- ① Windows に Administrator（管理者）権限を持つ ID でログオンし、光インターフェースユニットのセットアップ CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
- ② 光インターフェースユニットを PC の USB ポートに接続します。
- ③ デバイスマネージャーを開きます。
[スタート] ボタンをクリックし、スタートメニューを開きます。アプリリストをスクロールし、[Windows システムツール] フォルダの [コントロールパネル] をクリックします。



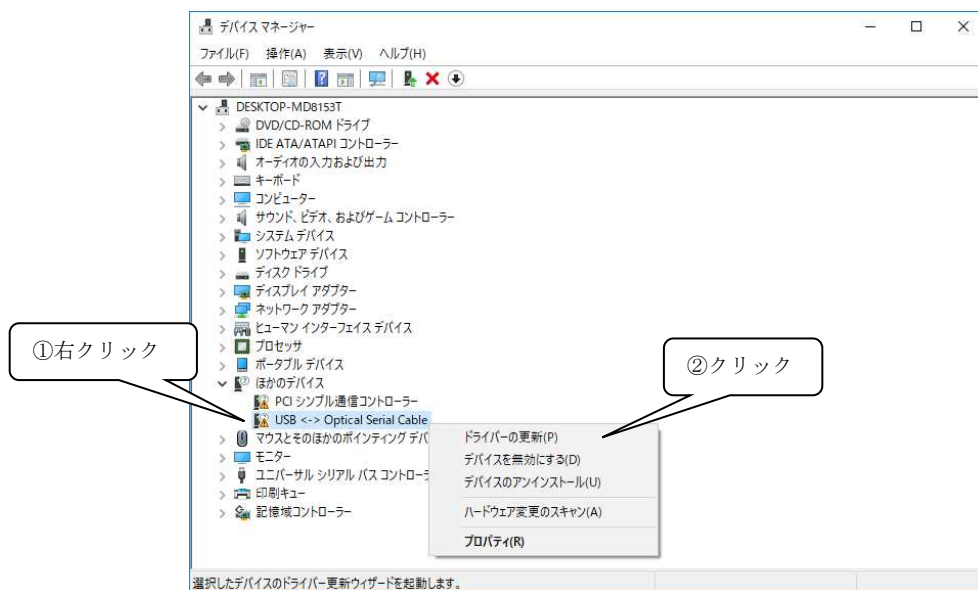
[コントロールパネル]の[ハードウェアとサウンド]をクリックします。



[デバイスとプリンター]の[デバイス マネージャー]をクリックします。



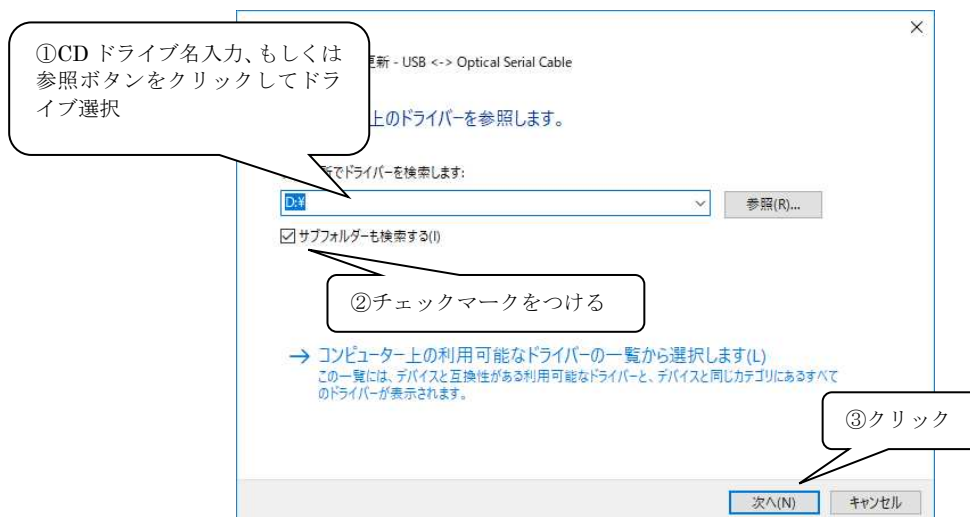
- ④ [ほかのデバイス]の項目に[USB <-> Optical Serial Cable]が表示され、“！”マークがついていたら、マウスで右クリックして[ドライバーの更新(P)]をクリックします。



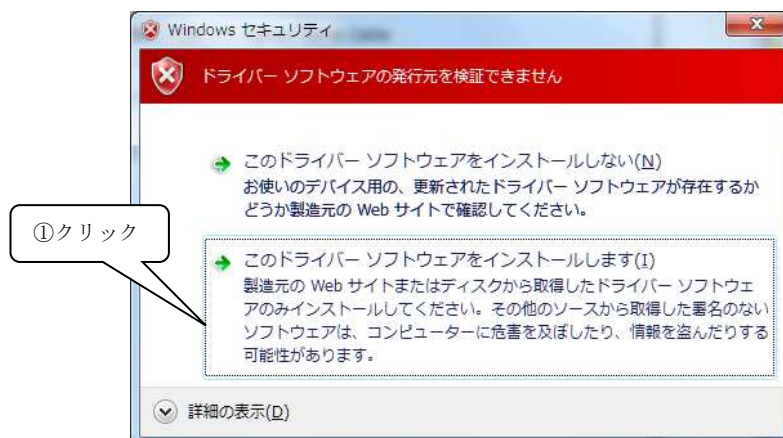
- ⑤ [ドライバーの更新 - USB <-> Optical Serial Cable] 画面が表示されるので、[コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索(R)]をクリックします。



- ⑥ ドライバーの CD を挿入したドライブの名前を指定し、[サブフォルダーも検索する]にチェックマークをつけます。（以下の例では D ドライブが CD ドライブです。）



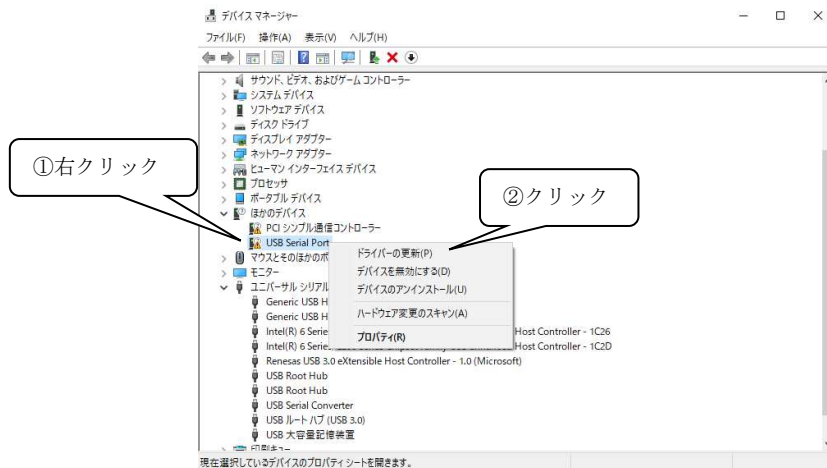
- ⑦ [Windows セキュリティ]画面が表示された場合は、[このドライバー ソフトウェアをインストールします]をクリックします。



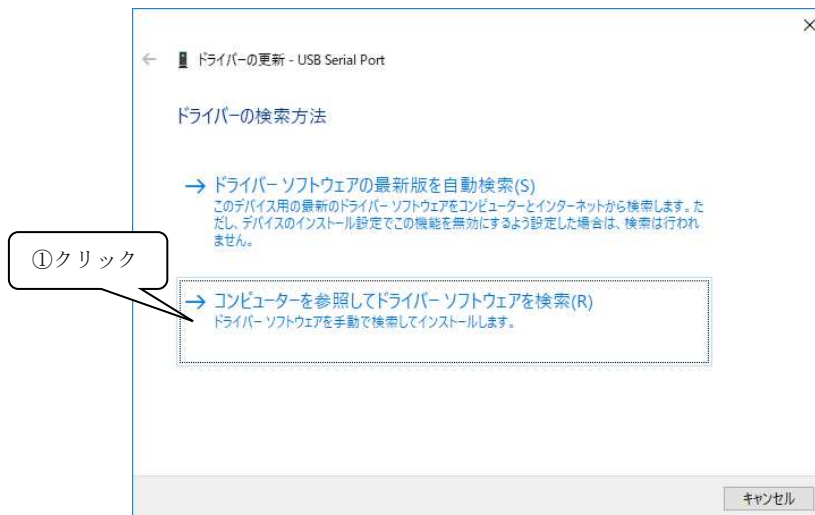
- ⑧ USB Serial Converter が正常にインストールできたら完了の画面が表示されます。



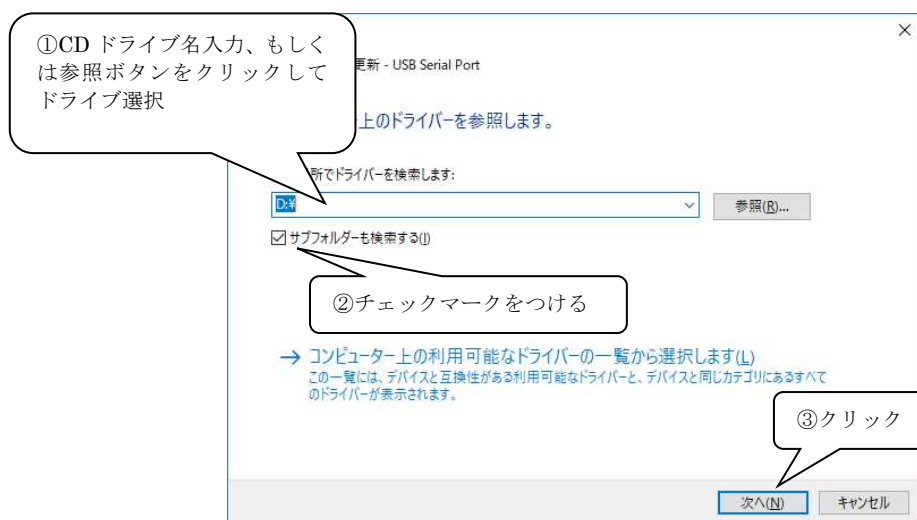
- ⑨ USB Serial Port のドライバー ソフトウェアをインストールします。
[ほかのデバイス]の項目に[USB Serial Port]が表示され、“！”マークがついていたら、マウスで右クリックして[ドライバーの更新(P)]をクリックします。



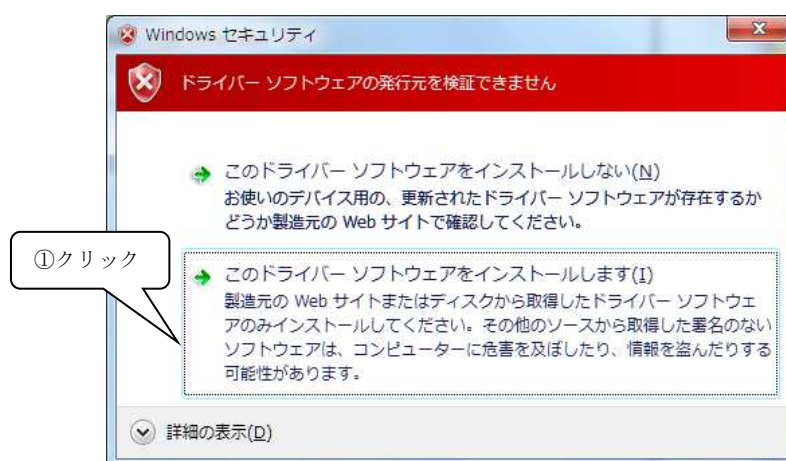
- ⑩ [ドライバーの更新 – USB Serial Port] 画面が表示されるので、[コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索(R)]をクリックします。



- ⑪ ドライバーの CD を挿入したドライブの名前を指定し、[サブフォルダーも検索する]にチェックマークをつけます。（以下の例では D ドライブが CD ドライブです。）



- ⑫ [Windows セキュリティ]画面が表示された場合は、[このドライバー ソフトウェアをインストールします]をクリックします。

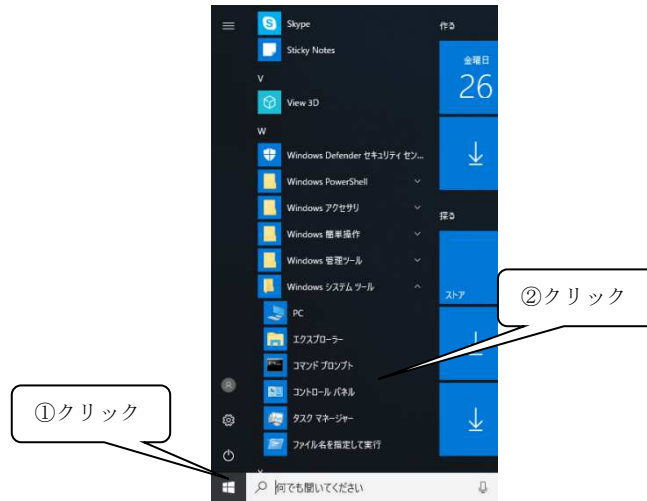


- ⑬ USB Serial Port が正常にインストールできたら完了の画面が表示されます。



(4) インストールの確認

- ① [スタート]ボタンをクリックし、スタートメニューを開きます。アプリリストをスクロールし、[Windows システムツール]フォルダの[コントロールパネル]をクリックします。



- ② [コントロールパネル]の[ハードウェアとサウンド]をクリックします。



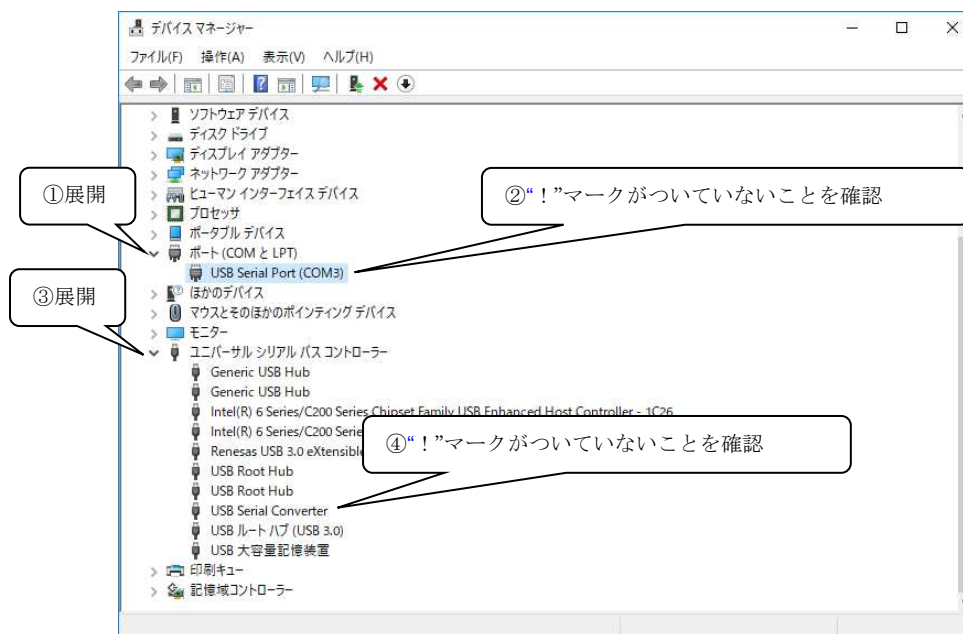
- ③ [デバイスとプリンター]の[デバイス マネージャー]をクリックします。



- ④ デバイスマネージャーの[ポート(COMとLPT)]を展開し、[USB Serial Port(COMx)]に“！”や“×”マークがついていないことを確認します。

(COMに続く数字はPCの環境により変化します)

同様に、[ユニバーサル シリアル バス コントローラー]を展開し、[USB Serial Converter]に“！”や“×”マークがついていないことを確認します。



(5) ソフトウェアのアンインストール

タスクバーの[スタート]ボタンをクリックし、スタートメニューを開きます。アプリリストをスクロールし、[Windows システムツール]フォルダの[コントロールパネル]をクリックします。[プログラムのアンインストール]をクリックします。表示された一覧から[ESS-S3011]をダブルクリックします。ユーザーアカウント制御が表示されるので、<はい>をクリックします。画面の指示にしたがってアンインストールを継続してください。

(6) ESS-S3011 / ESS-S3011A との接続

- ① 光インターフェースユニットの USB ケーブルを PC に接続します。
- ② 光インターフェースユニットに付属している光ケーブルを、機器前面の REMOTE 制御ポートと光インターフェースユニットに接続します。
- ③ 機器の電源を ON します。
- ④ ソフトウェアを起動します。

以上で接続は完了です。

開始する際は、必ず試験器の電源を ON してからソフトウェアを起動してください。

(7) ソフトウェアの終了と電源の切断

- ① 本ソフトウェアを終了します。
- ② 機器の電源を OFF します。

終了する際は、必ず本ソフトウェアを終了してから機器の電源を OFF してください。

また、接続ケーブルを外す場合もコントロールソフトウェアを終了してから外してください。

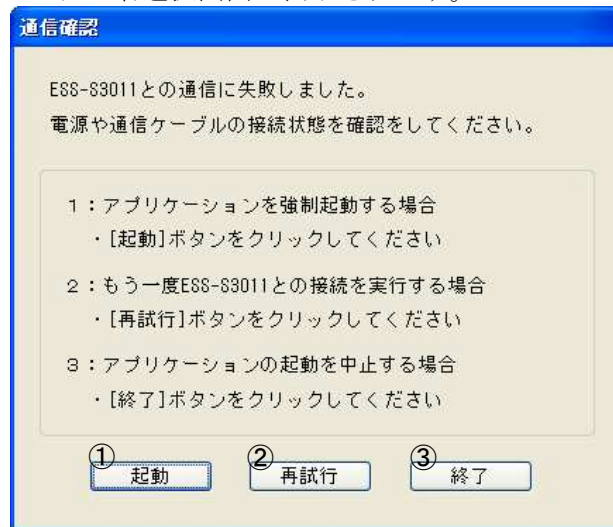
本ソフトウェアを終了せずに機器の電源 OFF や、接続ケーブルを外すなどすると、PC の動作が不安定になったり、OS が動作しなくなったりする場合があります。

お使いの OS のバージョンや設定の違いにより、画面や操作方法が異なる場合があります。

5.2. 起動

[スタート]-[全てのプログラム(P)]-[NoiseKen]-[ESS-S3011]から、[ESS-S3011]を選択し、ソフトウェアを起動します。

起動後、ESS-S3011 / ESS-S3011A との接続確認を行い、メイン画面(次章で説明)が表示されます。通信に失敗した場合、下図のモデル名選択画面が表示されます。



通信エラー画面

① <起動>ボタン

ESS-S3011 / ESS-S3011A との通信をせずにソフトウェアの起動をおこないます。

② <再試行>ボタン

ESS-S3011 / ESS-S3011A との通信確認を再実行します。

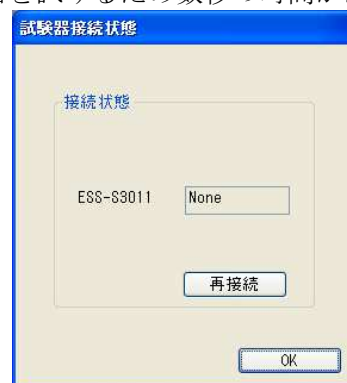
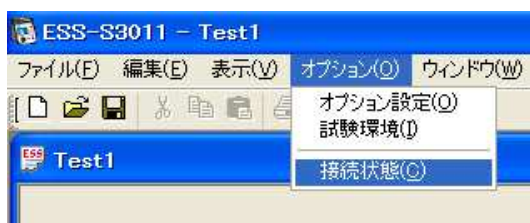
③ <終了>ボタン

ソフトウェアの起動を中止します。

※<無視>を選択すると、ソフトウェアは起動しますが、**試験は実行できません**。試験条件の確認や、設定のみをおこなう場合に使用してください。

本アプリケーション起動後に ESS-S3011 / ESS-S3011A と接続する場合は、ESS-S3011 / ESS-S3011A の電源が ON になっていることを確認し、[オプション(O)]-[接続状態(C)] を選択し、試験器接続状態ダイアログを起動します。

ESS-S3011 / ESS-S3011A と接続できた場合は<Connect>と表示し、できなかった場合は<None>と表示します。なお、接続の確立には試験器との通信を試みるため数秒の時間がかかります。

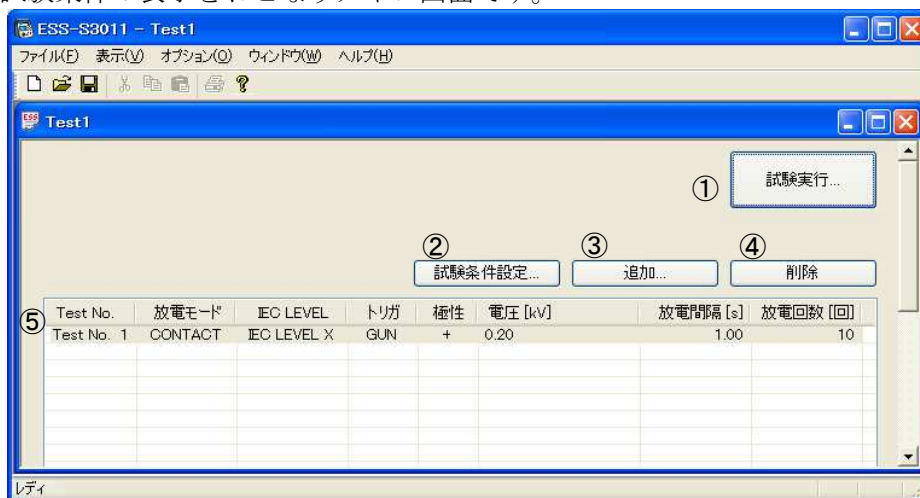


試験器接続状態ダイアログ

6. 操作方法

6.1. メイン画面

本ソフトウェアでは、試験の最小単位を **Step** と呼んでいます。
下の画面は試験条件の表示をおこなうメイン画面です。



メイン画面

- ①＜試験実行＞ボタン
試験環境ダイアログ及び、試験実行ダイアログを開きます。
- ②＜試験条件設定＞ボタン
試験条件設定ダイアログを開きます。
- ③＜追加＞ボタン
Test No. リストに試験を追加します。
- ④＜削除＞ボタン
Test No. リストに登録されている試験を削除します。
- ⑤＜Test No.＞リスト
試験内容の表示をします。

6.1.1. 試験条件設定

試験条件の設定をおこないます。

試験条件設定画面

① 放電モード

<CONTACT>を選択すると、接触放電試験をおこないます。

<AIR>を選択すると、気中放電試験をおこないます。

② IEC レベル

IEC レベルは接触放電と気中放電で異なる電圧が設定されます。

IEC LEVEL	接触放電(CONTACT)	気中放電(AIR)
IEC LEVEL 1	2 kV	2 kV
IEC LEVEL 2	4 kV	4 kV
IEC LEVEL 3	6 kV	8 kV
IEC LEVEL 4	8 kV	15 kV
IEC LEVEL X	任意の電圧	任意の電圧

③ トリガ

放電トリガを選択します。

<ESS>を選択すると、ESS-S3011 / ESS-S3011A 本体のトリガボタンが有効になります。

<GUN>を選択すると、放電ガンのトリガボタンが有効になります。

<EXT.>を選択すると、外部トリガが有効になります。

どのトリガが選択されていても、リモートソフト画面上のトリガボタンで放電可能です。

④ 極性

<+>を選択すると、+波形を出力します。

<->を選択すると、-波形を出力します。

<+/->を選択すると、+波形を指定回数放電したあと、-波形を出力します。

(<+/->はスイープにチェックマークがついている場合のみ表示されます)

⑤ スイープ

チェックマークをつけると極性ドロップダウンリストに+/-が、電圧に STEP と END が表示されます。

⑥ 電圧

試験電圧を 0.20 kV ~ 30.5 kV、0.01 kV ステップで設定します。

(STEP と END はスイープにチェックマークがついている場合のみ表示されます)

⑥ 放電間隔 (接触放電時のみ設定可能)

放電間隔を 0.05 秒~600 秒の範囲で設定します。

0.05 秒~1 秒までは 0.01 秒ステップ、1~600 秒は 0.1 秒ステップで設定します。

気中放電の場合、放電間隔は設定できません。

⑦ 放電回数

放電回数を 1 回~60000 回、1 回ステップで設定します。

6.1.2. 試験環境設定

試験環境の設定をおこないます。
設定はレポート内容に反映されます。
<保存>ボタンにより設定を保存しなかった場合、記述した内容は本ソフトウェア終了時にクリアされます。

試験環境

試験日

温度

25.0℃

試験時刻

湿度

50.0%

品名/型名

未設定

シリアル番号

未設定

試験者名

未設定

規格名

IEC61000-4-2

保存

OK

キャンセル

試験環境画面

試験日	メイン画面の<試験実行>ボタンを押し、試験開始する準備が完了した日付を表示します 試験日を変更することはできません
試験時刻	メイン画面の<試験実行>ボタンを押し、試験開始する準備が完了した時刻を表示します 試験時刻を変更することはできません
温度	試験環境温度を入力します
湿度	試験環境湿度を入力します
品名/型名	供試体の品名/型名を入力します
シリアル番号	供試体のシリアル番号を入力します
試験者名	試験者名を入力します
規格名	試験規格名を入力します
<保存> ボタン	入力内容を保存しておくことができます 保存した内容は今後のデフォルト値として使用します ただし、試験日と試験時刻は保存されません

6.1.3. 試験実行

試験器のコントロールをおこないます。
試験設定画面で設定した試験を実行します。

試験実行画面

- ① Step No.
試験ステップの番号を表示します。
- ② 放电間隔
接触放电選択時のみ機能します。
カウントダウンしていき、0になると放电します。
なお、1回目の放电のみ、放电間隔の設定に依らず最小時間で出力します。
- ③ 放电回数
0 からカウントアップしていき、指定回数に到達したら試験終了になります。

④ <スタート>ボタン



高圧電源を ON にして放電トリガ待ち状態になります。

高圧電源が ON になると、<TRIG>ボタンが有効になります。

⑤ <ストップ>ボタン



高圧電源を OFF にして放電不可能な状態になります。

⑥ <TRIG>ボタン



放電トリガを ON または OFF します。

接触放電 (CONTACT)	設定した放電間隔に基づき指定回数分だけ連続して放電します。 もう一度 TRIG ボタンを押すことにより放電を一時停止します。
気中放電 (AIR)	TRIG が ON の間、放電ガン先端部の放電チップが帯電した状態になります。 もう一度 TRIG ボタンを押すことにより放電を終了し、放電回数をカウントアップします。

⑦ 試験実行リスト

Step No.	放電モード	IEC LEVEL	トリガ	極性	電圧 [kV]	放電間隔 [s]	放電回数 [回]	判定	コメント
Step No. 1	CONTACT	IEC LEVEL X	GUN	+	0.20	1.00	10	-----	

試験の設定内容を表示します。

試験停止中に任意の Step No.をクリックすると、その試験から実行することができます。

任意の Step No.をダブルクリックすると、判定とコメントを編集することができます。

⑧ 試験結果入力欄

Step No.	1
判定	<div>----- ▼</div> <input type="checkbox"/> Step 完了時にA判定を自動入力する
コメント	<div></div> <div>確定</div>

Step No.に表示されている番号の試験結果を書き換えることができます。

試験実行中のメモとしても使用できます。

<Step 完了時に A 判定を自動入力する>にチェックマークがついていると、試験実行時に Step が完了する度に自動的に A 判定が記録されます。

⑨ 判定の一括設定とレポート作成

判定一括設定 ----- ▼

判定全変更

コメント全削除

レポート作成...

＜判定全変更＞ボタンをクリックすると、試験結果を一括で設定することができます。

＜コメント全削除＞ボタンをクリックすると、コメントをすべて削除することができます。

＜レポート作成＞ボタンをクリックすると、MS-Excel が起動し、試験内容を表示します。

（あらかじめ PC に MS-Excel がインストールされている必要があります）

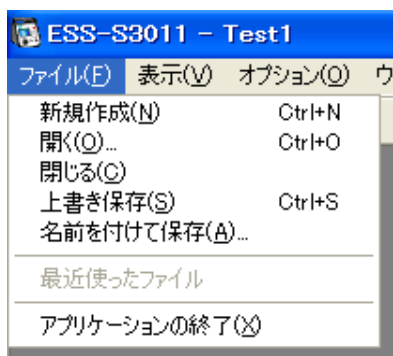
加工を容易にする為、CELL の書式を変更せずにプレーンな状態で表を作成しますので、必要に応じて加工してご使用ください。

※試験結果の保存や印刷が必要な場合は MS-Excel の機能をご使用ください。

6.2. その他

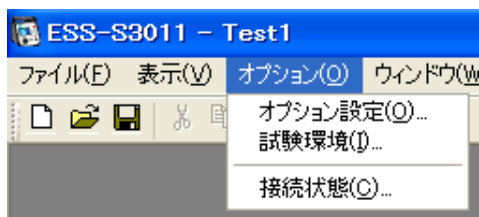
その他の機能を紹介します。

6.2.1. ファイルメニュー



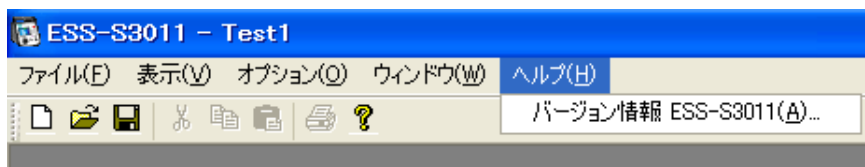
新規作成(N)	新しく試験ウィンドウを作成します
開く(O)	保存された試験設定を開きます
閉じる(C)	現在表示している試験設定ウィンドウを閉じます
上書き保存(S)	現在編集している試験設定ウィンドウを上書き保存します
名前を付けて保存(A)	現在編集している試験設定ウィンドウに新しい名前をつけて保存します
アプリケーションの終了(X)	本アプリケーションを終了します

6.2.2. オプションメニュー



オプション設定(O)	<p>オプション設定画面を開きます</p> <p>オプションには、企業名、試験場所、試験器モデル名、試験器シリアル No.、放電ガンモデル名、放電ガンシリアル No.、放電カップモデル名、放電カップシリアル No.、CR ユニットモデル名、CR ユニットシリアル No.を入力します</p> <p>入力内容はレポートに反映されます</p> <p>オプション設定の内容はシステムドライブに保存されます</p>
試験環境(I)	<p>試験環境設定画面を開きます</p> <p>試験環境には気温、湿度や、試験対象物に対する情報を入力します</p> <p>詳細は、試験環境設定画面を参照ください</p> <p>試験環境設定の内容は<保存>ボタンを押した場合のみシステムドライブに保存されます</p> <p><保存>ボタンにより設定を保存していない場合、本ソフトウェアを終了させた時点でクリアされます</p>
接続状態(C)	ESS-S3011 / ESS-S3011A との接続状態を確認します

6.2.3. バージョン情報メニュー



本アプリケーションのバージョン確認画面を表示します。

7. 動作環境

OS	: Microsoft Windows 10（日本語版 / 英語版） Microsoft Windows 11（日本語版 / 英語版）
CPU	: デュアルコア 2.4 GHz 以上を推奨
メインメモリ	: 8 GB 以上を推奨
ストレージ	: 5 GB 以上の空き容量があること
ディスプレイ	: SXGA 解像度(1280*1024: 32767 色)以上をサポートすること

また、上記の他に下記の条件があります。

- クラウドサービスを使用したソフトウェアやオンラインストレージを利用される場合は、動作保証できません。
- レポート作成支援機能を使用する場合は、OS に対応しておりサポート期間内の Microsoft Excel をインストールしていること。(ストアアプリ版では正常に動作しません。デスクトップアプリ版をご利用ください。)
- 光インターフェースユニット (Model : 07-00022A) があること。
- USB ポートの空きがあること。(1 ポート占有します)
- 光インターフェースユニット用ドライバインストール時に CD-ROM 又は DVD-ROM ドライブが必要となります。
- リモート制御プログラムを起動する前に試験器と接続されていること。
(接続されていない場合は通信できません)

8. 保証

保証規定

この保証規定は当社が提供する当社製ソフトウェアおよびそのアップデートファイルについて、保証するための規定です。なお、この保証規定は日本国内でのみ適用させていただきます。

1. 保証範囲

当社製のソフトウェアおよびそのアップデートファイルに適用させていただきます。

2. 無償サポート

原則、無償サポートは行いません。

3. 責任限度額

いかなる場合にも、当該当社ソフトウェアに起因する不具合により、お客様に生じた損害のうち、直接または間接に発生する可能性のある逸失利益、第三者からお客様に対してなされた賠償責任に基づく損害、および間接損害については、当社は責任を負わないものといたします。

9. 不具合発生時の連絡先

- 不具合と思われる症状が現れた場合は、症状、ソフトウェアのバージョン、対象機器のモデル名、製造番号をお調べ頂き、ご購入元またはカスタマサービスセンターまでご連絡ください。

☐ カスタマサービスセンター

TEL (0088)25-3939(フリーコール) / (042)712-2021
FAX (042)712-2020

発行元 株式会社 ノイズ研究所
〒252-0237 神奈川県相模原市中央区千代田 1-4-4
TEL 042-712-2031 FAX 042-712-2030

落丁・乱丁はお取り替えいたします。
PRINTED IN JAPAN